

## 令和3年度 学校関係者評価報告書

大阪市立塩草立葉小学校協議会

## 1 総括についての評価

自己評価（最終評価）は、概ね妥当である。学校協議会（書面開催）で示された運営に関する計画・自己評価（最終評価）等の資料から、新型コロナウイルス感染症拡大による制約の中でも、教育活動を工夫しながら、すすめることができた。今後も、引き続き子どもたちのために尽力してほしい。

## 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

達成状況は、妥当であると評価する。

- 令和3年12月末校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は100%であった。
- 令和3年度の大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合は、89%であった。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数は、前年度より減少している。
- 令和3年度末の校内調査において新たに不登校になる児童の割合は、前年度と同じであった。

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- 大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。
- 大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。

達成状況は、妥当であると評価する。

- 標準化得点を同一母集団で比較したところ、いずれの学年も前年度より向上した。
- 正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較したところ、4年と6年が減少した。
- 正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較したところ、4年が増加した。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、前年度より増加した。
- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合は、前年度より減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止によるさまざまな制約がある中で、体育学習を中心とした体力向上の取組やゲストティーチャーの招聘（トップアスリート夢・授業など）、姿勢保持の啓発などを進めた。

## 3 今後の学校園の運営についての意見

今後も、子どもたちのために教育活動をさらに充実させてほしい。